

# 気仙沼湾・唐桑半島東部海域貝毒プランクトン調査結果

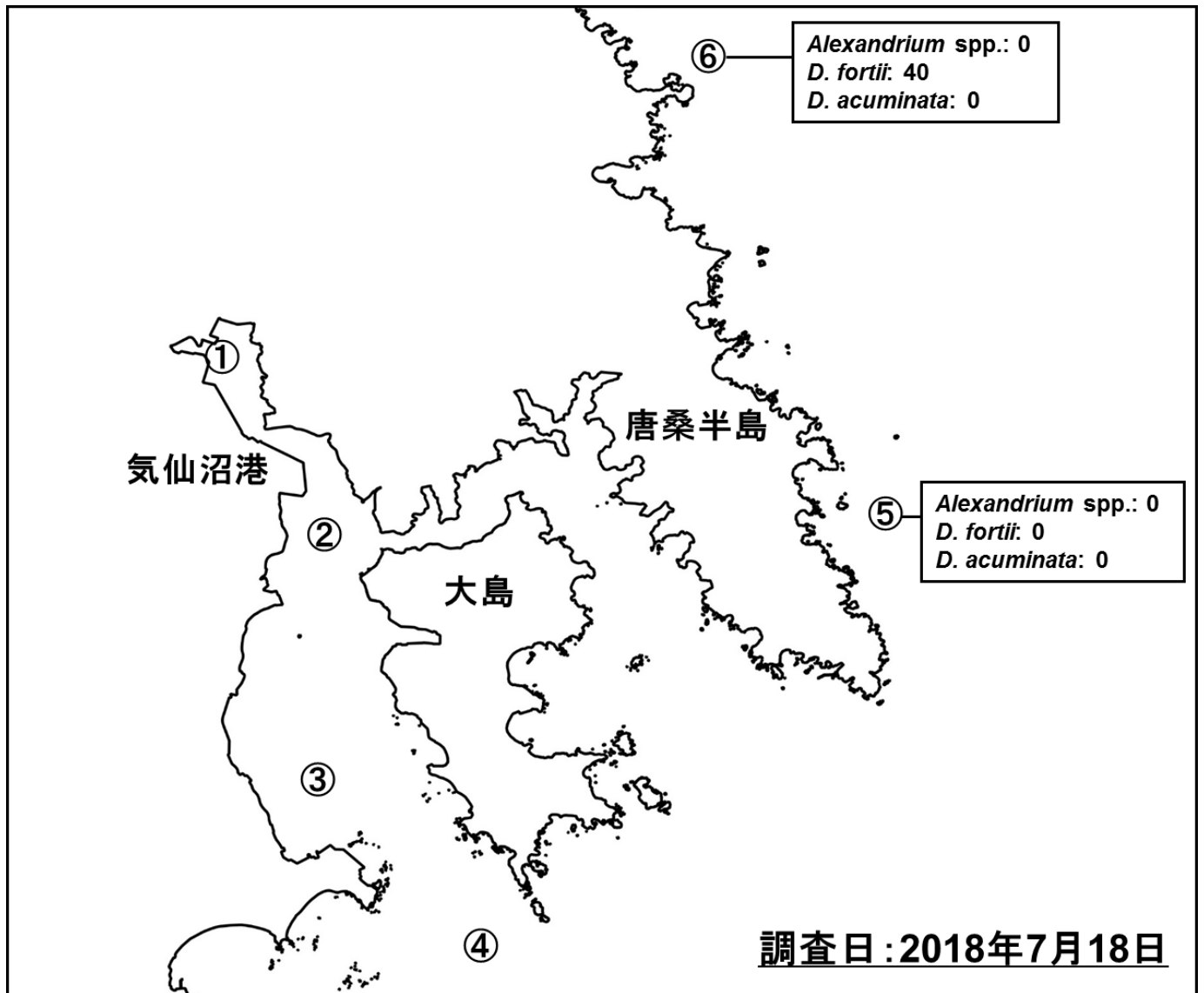


表: 今回(7月18日)の調査結果

調査地点	水深	水温 (°C)	塩分	貝毒プランクトン出現数 (cells/L)			備考
				Alexandrium spp.	Dinophysis		
					D. fortii	D. acuminata	
① 港町	0m	-	-	-	-	-	17日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	
② 母体田	0m	-	-	-	-	-	17日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	
	10m	-	-	-	-	-	
③ ニツ根	0m	-	-	-	-	-	17日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	
④ 岩井崎	0m	-	-	-	-	-	17日通報済み
	5m	-	-	-	-	-	
	10m	-	-	-	-	-	
⑤ 滝浜	-	-	-	0	0	30	D.mitra D.caudata
⑥ 大沢	-	-	-	0	40	20	D.caudata

※Alexandrium spp.はまひ性貝毒、D. fortiiとD. acuminataは下痢性貝毒の原因プランクトンです。

※プランクトン出現数は水深0~10 m(①と③は底つき)の柱状採水のデータです。

※次回の調査は7月23日に実施予定です。